

令和2年度  
自己評価書

評価対象期間 自：令和2年4月1日  
至：令和3年3月31日

中央工学校  
自己評価委員会

# 目 次

1. 建学の目的	1
2. 基本的運営方針	1
3. 現状の分析	1
4. 評価項目の達成及び取り組み状況	3
(1) 教育理念・目標・人材育成像	3
(2) 学校運営	6
(3) 教育活動	7
(4) 学修成果	10
(5) 学生支援	12
(6) 教育環境	15
(7) 学生の受入れ募集	18
(8) 財務	19
(9) 法令等の遵守	21
(10) 社会貢献・地域貢献	23
(11) 留学生（国際交流）	24
(12) 新型コロナウイルス感染症への対応	26
5. 自己評価総括	30
(参考) 令和2年度重点管理指針	31

## 1. 建学の目的（アドミッション・ポリシー）

中央工学校は、明治 42 年(1909 年)「工業技術を教授し、もって実務的な技術者を養成する」ことを目的として設立された。校是を「堅実」とし、「厳しい実務教育」と「人間涵養教育」による正しい職業観の育成に努めている。また、学習指導の重点を「理論より実際」とし、「誠実で社会性豊かな技術者」を育てることを不変の使命とする。

よって本校が求める人材像は、

- ・自らの技術により自立を志す者
- ・協調性をもち人とのかかわりを大切にする者

であり、これをもって学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)と定める。

## 2. 基本的運営方針

基本的運営方針を次のように定め、全学的に推進する。

- (1) 実技・実習による「厳しい実務教育」を教育の中核とする。
- (2) 「人間涵養教育」により豊かな社会性を有する技術者を育成する。

## 3. 現状の分析

### (1) 学生数 ※各年度 5 月 1 日付学校基本調査

項目	令和元年度	令和 2 年度	増 減	前年度比	摘 要
学 生 数	1,676 名	1,591 名	-85 名	94.9%	
クラス数	63 クラス	56 クラス	-7 クラス	88.9%	

#### ア. 新入生（学籍異動者含む）

新入生総数は、昼間 725 名、夜間 55 名、合計 780 名で、前年度比 67 名減(92.1%)となっている。系別の増減は、建築系(昼夜)60 名減、土木測量系(昼夜)10 名増、機械・CAD 系 5 名減、デザイン系 1 名減、国際情報系 11 名減となっている。

令和 2 年度の学生募集は、令和元年 11 月 6 日付の北区からの通知による入学定員厳格化の影響から、建築系と国際情報系は前年度を下回っている。

ここ数年減少傾向にあった夜間は、建築科 3 名増、土木測量科 1 名増と微増している。

#### イ. 進級生（学籍異動者含む）

進級生総数は、昼間 770 名、夜間 41 名、合計 811 名で、前年度比 18 名減(97.8%)となっている。系別の増減は、建築系(昼夜)26 名増、土木測量系(昼夜)4 名増、機械・CAD 系 5 名増、デザイン系 16 名減、スポーツ系 12 名減、国際情報系 25 名減となっている。

インテリア科とスポーツ健康学科の募集停止、国際情報系の進学による学籍異動者増が減少の要因となっている。

## ウ. 留学生

### (ア) 在籍状況

項目	令和元年度	令和2年度	増減	前年度比	摘要
工業専門課程	35名	30名	-5名	85.7%	
国際情報系	188名	152名	-36名	80.9%	
計	223名	182名	-41名	81.6%	

令和元年度47名減、令和2年度41名減と2年連続で大きく減少している。

減少の要因は、国際情報系の定員数削減と学外への進学等による学籍異動増だが、今後は、リベラルアーツ科(1年制)の開設による学籍異動の減少が見込まれる。

### (イ) 工業専門課程

漢字圏63%、非漢字圏37%で、令和元年度より非漢字圏が増加している。

国費留学生(カンボジア)2名が、建築設計科1・2年に在学している。

### (ウ) 国際情報系

漢字圏75%、非漢字圏25%と、令和元年度と同じ割合となっている。

## (2) 職員数 ※各年度とも4月1日現在の人数による

項目	令和元年度	令和2年度	増減	前年度比	摘要
教員	63名	56名	-7名	88.9%	
事務職員	36名	38名	+2名	105.6%	
計	99名	94名	-5名	94.9%	校長を除く

令和2年3月31日付で5名(建築系1名、土木測量系2名、スポーツ系1名、生涯学習室1名)が退職し、1名が新規に再雇用となっている。

なお、令和元年7月1日付で広報課に1名の中途採用があったが、令和2年度新規採用者は0名となっている。

## (3) 学習概況

使用開始から2年目を迎える2号館の各実習室は、有効活用され教育内容の充実と質の向上に役立っている。また、3号館の学生レストラン「SORA」や6号館1階に移転した購買などの施設も、学生サービスと学習環境の向上に役立っている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、入学式を含め様々な学校行事が中止または延期となっている。また、感染拡大防止の観点から教室使用率を50%以下とした対面授業と、Google classroom を利用した遠隔授業を併用して教育活動を継続している。

6月8日の授業開始から現在に至るまで大きな問題は起こっていないが、引き続き教育内容の維持と学修機会の確保に努めている。

#### (4) 令和2年度に実施する主な変更・改善

##### ア. 設置科の再編

募集停止	工業専門課程	機械学科(4年制)	※令和4年度末 廃科
新設	文化・教養専門課程	リベラルアーツ科(1年制)	
廃科	工業専門課程	インテリア科(2年制)	
		(夜)測量科(2年制)	
	文化・教養専門課程	スポーツ健康学科(2年制)	

##### イ. 学費の改定

国際情報系	商業実務専門課程	情報ビジネス科(2年制)
	文化・教養専門課程	国際コミュニケーション科(2年制)
		リベラルアーツ科(1年制)

改定内容 施設維持費 210,000円 ⇒ 218,000円(+8,000円)

#### 4. 評価項目の達成及び取り組み状況

##### (1) 教育理念・目標・人材育成像

###### 1-1 学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか

本校は、明治42年(1909年)10月21日、その時代を担う勤労学生に「工業技術を教授し、もって実務的な技術者を養成する」ことを目的に創立されている。

校是を「堅実」とし、堅実かつ誠実で豊かな社会性を有する技術者を育成することを教育の基本としている。また、「理論より実際」を学習指導の重点におき、より実務性の高い技術・技能の育成を目標としている。

また、本校が育成する人材像をより明確にするために、「入学者の受入れ方針」(アドミッション・ポリシー)を策定・公表し、周知を図っている。

[学生の受入れ方針、令和2年度 中央工学校 運営計画]

###### 1-2 学校における職業教育の特色はあるか

教室に限られた講義のみでなく、体験・実物確認を目的とした屋外型実習と軽井沢合宿研修をはじめとする人間涵養教育により、社会性豊かな技術者教育を行っている。この屋外型実習と人間涵養教育が本校の職業教育の特色となっている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により屋外型実習は内容や場所などを変更して実施している。なお、一部の実習については時間的な制約等により止むを得ず中止している。主な屋外型実習の実施状況は、以下のとおりとなっている。

教育系	実施された実習
建築系	総合建設実習/施工管理実習/内装施工管理実習/木造建方実習/伝統建築調査/地域密着型実践教育
土木測量系	総合建設実習/総合測量実習/校内造園施設改修実習
デザイン系	舞台造作実習/仮設設営実習/卒業証書授与式舞台演出

### 1-3 社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか

新型コロナウイルスの影響により、建設業界では工期の遅れや中止など様々な影響を受けている。また、東京オリンピック・パラリンピックは2021年に延期される事が発表されたが、政府の国土強靱化政策や大阪万博開催などにより建設需要は高まっている。

このような状況の中で、建設業界では労働力の減少や現場管理者の不足などの問題が発生し、業務の効率化が図れるCAD・BIMをはじめとしたIT化に対応できる若手技術者の育成が急務となっている。

これら社会のニーズを踏まえ、将来構想を見極めるため「中央工学校における中期計画（令和元年度見直し）」を策定して全学的に推進を図っている。

[中央工学校における中期計画（令和元年度見直し）]

### 1-4 教育目標・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか

本校の定める教育目標及び運営方針について、次のように周知を図っている。

#### (ア) 入学希望者

体験入学・入学相談会などで、「学校案内書」にて教育目標や各学科の特色について説明している。

[学校案内書]

#### (イ) 学生

「学生手帳」を全員に配付し周知を図っている。また、年度当初のガイダンスにおいて担任より詳細を解説している。

[学生手帳]

#### (ウ) 保護者

保護者との情報共有の場として、保護者教育懇談会を毎年5月に実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催に変更し10月に実施している。

この懇談会では、本校における新型コロナウイルスへの取り組みなどを校長がビデオメッセージで伝えるとともに、担任より本校の教育方針について説明を行っている。特に、「厳しい実務教育」として「理論より実際」を学習の重点とし各種実技・実習を展開していることや、軽井沢合宿研修により「人間涵養教育」や「集団生活の重要性」を認識させていることを伝えている。

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

#### (エ) 業界関係

本校は、平成19年10月に中央工学校人材育成後援会(令和2年10月現在、会員企業数433社)を設立し、その目的を「中央工学校に求人している企業と学校との綿密な連携と親睦を図る」と定めている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により合同企業説明会は中止、定例総会は書面表決で実施している。なお、総会資料送付の際に「令和2年度 中央工学校運営計画」を同封し、会員企業に周知を図っている。

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

### 1-5 各学科の教育目標・育成人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか

(ア) 業界関係者からは、「卒業して社会に出た場合、自分一人の力で完結できる仕事は少なく他者との協力が必要になる。そのような社会で求められるものはコミュニケーション能力であり、現代の若者には不足している。」と指摘されている。

本校では必修科目として「軽井沢合宿研修」を実施しており、集団規律の重要性・時間厳守・整理整頓・協調性を重んずる心構えを教育している。一朝一夕にコミュニケーション能力が備わるものではないが、本研修に参加することで社会の中での自分の役割を認識する好機となっている。

なお、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により全て中止している。

(イ) 本校では、教職員と業界団体の役員、専攻分野に関する有識者、及び実務に関する知識・技術を有する企業の代表からなる教育課程編成委員会が組織されている。

委員会の下部組織には設置科毎にワーキンググループが設けられ、問題点の把握を行うとともに、委員会にて各業界における具体的ニーズに基づき教育課程の改善・見直しを行っている。

[教育課程編成委員会議事録]

### 評価と今後の改善方策 「教育理念・目標・人材育成像」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
1-1	学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色はあるか	4	3	2	1
1-3	社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	教育目標・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3	2	1
1-5	各学科の教育目標・育成人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

#### ①課題

- ・業界の求める人材像の中には、コミュニケーション能力・積極性など技術教育以外の要素も求められている。

#### ②今後の改善方策

- ・アクティブラーニングなどの授業を活用し、学生のコミュニケーション能力・積極性を高める。

#### ③特記事項

- ・特になし。

## (2) 学校運営

### 2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか

令和2年度の基本的運営方針を前述のように定め、目的に沿った運営を全学的に推進している。また、令和元年度自己評価結果を踏まえ、令和2年度における重点管理指針を定め課題解決に努めている。

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

### 2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

基本的運営方針や重点管理指針を基に、部署毎に事業目標や具体的方策を加えた「令和2年度 中央工学校 運営計画」を定めて全職員に周知し、この運営計画に則り適切に業務が遂行されている。

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

### 2-3 各規程等は整備されているか

「学則」が定められ、「学生手帳」にその抜粋が記載されており、学生に対しては年度当初のガイダンス時に説明して周知を図っている。

教職員は「学校法人中央工学校規程集」を基に労務管理が行われ、法改正などによる見直しも適宜行われている。また、教員は「教員等の研修に関する規定」により、各種研修が行われている。

[学則、学校法人中央工学校規程集、教員等の研修に関する規定、学生手帳]

### 2-4 地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか

創立以来、法令を遵守し関係者と連携・協力して地域社会の環境向上を図っている。

通学時間帯においては、生活指導主事を中心に毎朝2名の職員が交代で、東京都の「迷惑防止条例」や北区の「路上喫煙の防止等に関する条例」などにに基づき指導している。

また、令和2年4月1日より「改正健康増進法」や「東京都受動喫煙防止条例」の全面施行を受け学校敷地内全域を全面禁煙とした結果、路上喫煙が目立つようになり職員の巡回を強化している。

### 2-5 教育活動に対する情報公開が適切になされているか

教育活動に関する情報は、入学希望者・学生・保護者・求人企業等に対して「学校案内書」「募集要項」「求人のための学校案内」により周知している。

ホームページによる情報公開では、学校運営計画・学校評価・財務状況をはじめ、「職業実践専門課程」の基本情報として、学生数・就職状況・中途退学者数や成績評価基準などを公表している。また「高等教育の修学支援新制度」認定校として、実務家教員等による授業科目一覧・授業計画書(カリキュラム・ポリシー)・客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料なども公表している他、新着情報やキャンパスニュースなどで日々の学内の様子が発信されている。

また、学内における新型コロナウイルスに関する情報を随時更新するとともに、台風による授業変更・休講情報も適宜掲載し、学生や保護者、教職員などに周知している。

[学校案内書、募集要項、求人のための学校案内、中央工学校ホームページ]



## 2-6 情報システム化等により業務の効率化が図られているか

本校では、学生や卒業生に対するサービス向上を目的に基幹システムにより事務手続きなどの効率化を図っており、入学前の入学相談・資料請求をはじめ、入学・在学中・卒業後の各種データは一元管理され適切に処理されている。

令和2年度は、サーバー機器の老朽化に伴うリプレースを行い大きなトラブルもなく作業を終えている。

今後も、基幹システムの更なる安定運用・効率化・セキュリティの向上を含めた運用管理の検討を継続する。

### 評価と今後の改善方策 「学校運営」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2-3	各規程等は整備されているか	4	3	2	1
2-4	地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-5	教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-6	情報システム化等により業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

#### ①課題

- ・学校敷地内全域の全面禁煙に伴う、路上喫煙等の対応。

#### ②今後の改善方策

- ・生活指導主事を中心に、教務課員と各教員室にて巡回の強化を行っている。辛抱強く生活指導を行い、社会人としてのマナーを養うよう指導を続ける。

#### ③特記事項

- ・特になし

### (3) 教育活動

#### 3-1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか

各学科の教育理念に基づき教育課程が体系的に策定されている。また、教育課程編成委員会では、各学科において企業と連携を図り教育課程の編成及び教育内容の見直しを行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルスによる教育活動への影響とその対策についても連携を図り、PDCAのサイクルに基づき改善を重ねている。

[学則、教育実施計画書、教育課程編成委員会資料]

### 3-2 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか

カリキュラムは、各学科の特色を反映させるとともに業界や時代のニーズなどを考慮し編成している。

建築系及びデザイン系では建築士の受験資格、土木測量系では測量士(補)の資格取得などに関連する教科目や授業時間数が定められており、それらを効率よく学べるようにカリキュラムを決定している。また、全学的にコマシラバスへ取り組み教育の質の担保を図っている。

[学則、教育実施計画書]

### 3-3 授業評価の実施体制はあるか

授業に対する学生の満足度と教育効果の測定を目的とし、前・後期授業終了時に授業評価(学生アンケート)を実施し結果を分析している。また、成績概況報告と併せて考察することで問題点を発見し、講師に情報を開示することで教育内容の向上に役立てている。なお、これらは報告書として学期毎に校長へ報告している。

[成績概況・授業評価報告書]

### 3-4 関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか

教育課程編成委員会・各科ワーキンググループを通じ、学外委員を中心とした関連分野の企業と連携を図りカリキュラムの編成・見直しなどが行われている。また、企業から派遣された講師(実務家教員等)により、業界のニーズに合った授業が実施されている。

[教育課程編成委員会資料、教育実施計画書]

### 3-5 成績評価及び進級・卒業判定の基準は明確になっているか

本校では全学科共通の評価基準(成績点数と評価値)を定め「学生手帳」に記載するとともに、年度当初のガイダンスにより担任から説明している。また、ホームページに掲載している「職業実践専門課程 様式4」の中で、成績評価、卒業・進級条件を公表するとともに、保護者教育懇談会などで保護者にも説明している。

[進級及び卒業認定に関する規則、学生手帳、職業実践専門課程 様式4]

### 3-6 教員資質向上の為の研修が行われているか

(ア) 教員は、教員研修規定に則り研修に取り組み、高度化・多様化する理論及び新技術などを習得し教員資質向上に努めている。その成果は、教員研修委員会により研修紀要としてまとめている。また、研修の内容は、教員研修発表会により技術・知識の共有化を図っている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により学校全体での開催は中止し、各教育系で実施している。

[教員等の研修に関する規定、中央工学校教員研修報告]

(イ) 指導力向上・クラス運営・学生生活のサポートなどを目的とし、東京都専修学校各種学校協会主催による専修学校教職課程研修会や中堅教員を対象とした指導力養成講座などに参加している。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、次年度開催の際は積極的に参加し教育の質の向上を図る。

(ウ) 各教育系では、外部機関との連携による研修を進めている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により専攻分野毎や指導力の向上を目的とした研修へは参加しておらず、以下の研修参加となっている。

学校運営：留学生受入に関する研修会等への参加

(エ) 新入教職員に対して研修を行っている。その内容は以下のとおりである。

専修学校制度・中央工学校概要・軽井沢研修所・職業実践専門課程・留学生指導・奨学金制度・学校行事に関する研修(レポート提出)・軽井沢研修所施設見学会・確認テスト・小論文(テーマ：中央工学校における人間涵養教育について)

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響によりビデオ鑑賞によるレポート作成へと変更して実施している。

この他、一般財団法人中央工学校生涯学習センター主催の「キャリア教育プログラム」に3名が参加している。

[新入教職員研修]

(オ) 講義科目を担当している教員やこれから担当する助教員を対象とした、模擬授業を実施している。聴講者から意見やアドバイスを受けることにより、教員の教授力向上を図り今後の授業に活かしていくことを目的として、平成27年度より各教育系の専門分野についての模擬授業が行われている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中止している。

[令和元年度 模擬授業 実施報告書]

### 評価と今後の改善方策 「教育活動」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
3-1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4	3	2	1
3-2	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
3-5	成績評価及び進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-6	教員資質向上の為に研修が行われているか	4	3	2	1

### ① 課題

- ・特になし

### ② 今後の改善方策

- ・特になし

### ③特記事項

- ・特になし

## (4) 学修成果

### 4-1 就職率の向上が図られているか

令和元年度の就職希望者数に対する就職率は、昼間 97.8%、夜間 100%と昼夜ともに高い就職率を達成している。

就職率向上を目的に、以下のような取り組みを行っている。

[SCHOOL GUIDE 2021]

- (ア) 就職活動への学生指導は就職指導課と担任が連携し、就職指導ガイダンス(年 3 回)や希望者を対象とした模擬面接や個別指導を随時実施している。
- (イ) 求人企業により組織された中央工学校人材育成後援会の協力で合同企業説明会を実施している。令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響により中止している。
- (ウ) 近年増加傾向にある一般公募による就職活動への対応については、履歴書の添削指導や模擬面接等を通して企業の動向や内定状況の把握に努めている。引き続き、多様化する就職活動に対応した指導が求められている。
- (エ) 過年度求人票のデジタル化(PDF)を進めることで、学生への迅速な対応を可能としている。併せて、就職支援のポータルサイトを構築している。
- (オ) 各教育系の特性を生かし、業界を理解するためのオンライン説明会等を実施し、就職に向けて意識向上を図っている。
- (カ) キャンパスニュース(中央工学校ホームページ)に就職指導課専用ページを開設し、就職支援活動に活かしている。

### 4-2 資格取得率の向上が図られているか

学習成果の到達度確認を含め、卒業後必要となる資格取得の推奨をしている。

[令和 2 年度 中央工学校 運営計画]

- (ア) 在学中の資格取得は、各教育系ともに推奨資格の取得を目標としたカリキュラムを組んでおり、授業時間内での指導を中心としている。難易度の高い資格に関しては、時間割編成の変更や特別対策授業、オンラインによる講習会を実施して取得率の向上を図っている。中でも、建築系や土木測量系では、2 級管工事や土木・造園施工管理技士の学科試験において高い合格率を達成している。
- (イ) 卒業後に受験資格が得られる建築士試験などは、在学中に特論などの科目を履修する事で受験意識を高めるよう指導している。また、卒業時期には全学生へ受験ガイドを配付し、受験に向けて意識付けを強化して対策講座などの活用を推奨している。

(ウ)「建築士法の一部を改正する法律」により、建築士試験の受験資格が変更されているので、受験状況及び合格率の把握と検証が必要である。

#### 4-3 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(ア) 在校生には、授業やクラブ活動を利用して学外のコンペ・コンテストへの参加を推奨している。また、各種作品展にも出展しておりこれらの成果が入学希望者・保護者・高校教員などに周知されることで学生募集に生かされている。

主な入賞成果は、以下のとおりとなっている。

##### ① コンペ・コンテスト

- |          |                         |             |
|----------|-------------------------|-------------|
| ・建築室内設計科 | 第 17 回主張する「みせ」学生デザインコンペ | 入賞          |
| 〃        | 〃                       | 店内商環境部門賞 佳作 |
| 〃        | 〃                       | 奨励賞         |
| ・造園デザイン科 | 第 58 回技能五輪全国大会（造園）      | 出場          |
| 〃        | 第 4 回渋谷公園通国際ガーデニングコンテスト | 渋谷区長賞       |

##### ② 関係団体による表彰

- |          |               |    |
|----------|---------------|----|
| ・建築室内設計科 | 全国工業専門学校協会会長賞 | 受賞 |
| ・造園デザイン科 | 〃             | 〃  |

##### ③ 各種作品展への出展

- ・第 43 回学生設計優秀作品展 —建築・都市・環境—（レモン画翠主催）  
※オンラインによる展示及び作品集制作
- ・第 29 回 JIA 東京都学生設計コンクール 2020  
※オンラインによる審査及び作品集制作
- ・JASIS 2020 第 27 回卒業作品展 WEB 展示（日本インテリア学会主催）
- ・北区公園内作品展示（区立王子駅前公園）
- ・SEBIT2020 東京都専門学校アート&デザイン展

(イ) 卒業生に関しては、就職先企業への求人票の送付時に「卒業生勤務状況調査書」の提出を求めている。また、就職先へ企業訪問の実施により勤務状況の把握に努めているが、実質的には担任からの情報提供に頼っているのが現状である。各担任から提供された卒業生の活躍について、情報共有を強化する必要がある。

(ウ) 外国人の雇用が推進されていく中、卒業後も日本に留まり企業で就業する留学生が毎年一定数存在する。国内で活躍する留学生との情報共有の機会を構築するため、国内在住の留学生を対象とした同窓会組織の設立を検討する必要がある。

(エ) 各教育系では、同窓会本部の協力を得て実施している同窓会において、卒業生との情報交換や卒業後の動向把握に努めている。今後も、活発に活動している同窓会とより密に連携し、各都道府県での活躍状況等卒業生の動向を把握し評価・公表に努める。

## 評価と今後の改善方策 「学修成果」

評価項目		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-3	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1

### ① 課題

- ・在学中の資格取得率向上にあたり、コロナ禍における感染防止を考慮した新しい特別対策授業の実施方法などを整備する必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・学生が自発的、積極的に資格取得に取り組めるような体制と指導環境を整える。

### ③特記事項

- ・就職指導課と連携し、学生が希望する業種・職種の企業開拓を継続する。
- ・同窓会と各教育系との連携・協力体制を強化し卒業生の動向把握に努める。
- ・国内在住の留学生を対象とした同窓会組織の設立については、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は見送りとなっている。

## (5) 学生支援

### 5-1 就職・進学に関する支援体制は整備されているか

#### (ア) 就職支援

就職指導課と担任のサポートにより学生支援を行っている。

就職指導課では担当者による個別の就職指導のほか、求人検索システムを活用した求人情報の閲覧や求人情報の掲示等を行っており、学生へ細やかな支援体制を整えている。また、希望する学生には社会人としての必要な知識や就職活動に役立つ情報提供の場として、就職支援のポータルサイトを運用している。

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

#### (イ) 進学支援（学内進学を含む）

進学希望者には担任が進学指導を行っている。また、教務課との連携により出願書類の準備などのサポートも行っている。

さらに、資格取得やより深い専門知識の取得を目的とした学内進学制度があり、目的に合わせた進路指導を行っている。

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

#### (ウ) 留学生の進路指導

工業専門課程の留学生への進路指導は就職指導課、国際情報系に属する留学生は国際情報系(就職担当者)により行うことを原則としているが、相互横断的指導にも留意している。

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

## 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか

クラス担任制でクラス運営を行っている。担任は専門教育だけでなく、学生生活全般について把握し、学生の持つ不安や疑問に傾聴することを心掛けている。

## 5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

### (ア) 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から実施された新たな修学支援制度で、機関要件を満たす高等教育機関として認定された。なお、令和2年度は入学生だけでなく在校生も対象となっており、本校では100名(在校生の約7%)の学生が利用している。

### (イ) 日本学生支援機構

令和2年度の奨学金利用者は、437名(在校生の約31%)で令和元年度より増加している。

### (ウ) 学校法人中央工学校奨学金

本校独自の制度で、無利子で一人最大100万円まで貸与している。保護者の負担軽減と、学生が授業に集中し易い環境作りの一助として利用されている。令和2年度は、7名(令和元年度9名)の学生が貸与を受けている。

### (エ) 新入生対象授業料減免制度

本校独自の取組みで、経済的支援を必要とする新入生を対象に授業料から24万円を減免する給付型の制度である。令和2年度は、18名(令和元年度15名)の応募があり選考の結果9名が採用となった。指定校推薦制度や親子優遇制度と併用申請をすることもでき、入学時における経済的支援の一助となっている。

なお、本制度については「高等教育の修学支援新制度」の開始に伴い令和3年度から廃止する。

### (オ) 同窓会からの支援

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により様々な困難に見舞われた学生のため、同窓会より全学生に会長メッセージ付きの「学生応援クオカード」(3,000円)を配付している。

## 5-4 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか

毎年4月に学生を対象とした健康診断を行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により授業開始が遅れたため、6月と11月に実施して健康状態の把握に努めている。また、校医(提携医療機関)を交えて衛生委員会を実施し、季節によって留意すべき衛生情報を確認することで学生の健康管理に役立っている。

常駐の医師はいないが、軽度の体調不良者は教務室内に設けた保健室で休ませ初期対応を行っている。さらに、具合の悪い学生は校医(または外部医療機関)と連携し適切に対応している。

[衛生委員会議事録]

### 5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか

学生が自由に参加できるクラブ・同好会はスポーツ系8団体、文化系6団体を有しており、クラブ顧問を中心にクラブ・同好会委員会が組織されている。

学生は、課外活動時の傷害保険として学生総合保障制度に加入している。これは在校時に限らず、通学・校外授業やクラブ活動さらにインターンシップ活動中の事故なども補償するもので、入学時に全員加入している。事故が発生した際には、教務課が中心となり対応している。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、クラブ・同好会の活動は中止している。なお、活動再開については、感染状況を鑑み判断する。

[学生手帳、クラブ・同好会 収支報告書]

### 5-6 保護者との連携は構築されているか

毎年、保護者教育懇談会を実施している。

令和2年度は、全体会と個人面談を中止しオンライン開催によるクラス別懇談会として10月10日と24日に実施している。

10日は85名、24日は202名、延べ287名(令和元年度323組380名)の参加があり、保護者との連携を図ることで学生支援の一助としている。

## 評価と今後の改善方策 「学生支援」

評価項目		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
5-1	就職・進学に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4	3	2	1
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-6	保護者との連携は構築されているか	4	3	2	1

#### ①課題

・特になし

#### ②今後の改善方策

・特になし

#### ③特記事項

・特になし



## (6) 教育環境

### 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか

職場巡視を校舎毎に定期的実施し、火災や地震の際の避難経路を確認している。消火器を含む消防設備は法律に基づき定期的に点検を実施している。AED については、委託業者により更新状況などを点検しているとともに、年一回教職員を対象に講習会を実施している。問題点が発見された場合には速やかに改善することで安全な教育環境の維持に努めている。

その他、令和2年度に実施された主な整備状況は、以下のとおりとなっている。

[職場巡視報告書、消防設備等点検結果報告書]

#### (ア) 学生レストラン

6月の授業開始に合わせて、学生サービスを開始している。

令和2年度は、新型コロナウイルスへの対応として、座席数を半数へ減らし常時換気を実施しながらのサービス提供している。また、ランチタイムの実施時間は変更ないが、14時以降のカフェタイムについては一部短縮されている。

#### (イ) 第二期王子キャンパス整備計画

王子校舎群の再編と教育環境の整備に努めている。

令和元年度 5号館 1階部分を屋内造園実習場への改修

令和2年度 21号館 屋上防水と天井照明機器の整備

外構 21・23号館周辺遊歩道（擁壁の改修）

令和3年度 1号館 耐震補強工事

[令和2年度 中央工学校 運営計画]

#### (ウ) 図書館

図書館は工業分野の専門書を中心に約35,000冊を有し、学生と教員、講師が活用している。毎年、必要に応じて蔵書の入れ替えを行い利用者のニーズに対応している。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により入館時の人数(30人)や利用時間の制限(30分以内)、閉館時間の変更や受付をビニールシートで遮蔽するなどの感染防止策を行い、学生の安全に配慮している。

#### (エ) 軽井沢研修所

コミュニケーション能力の向上や日本文化の理解と継承を目的として、全学年必修の合宿研修を実施している。また、建築系・土木測量系・デザイン系の各種実習施設としても活用している。

令和2年度は、暖房機器も含め宿泊室を全面的に改修し学生サービスの向上を図っており、施設の維持管理は、(株)あかつき(管理・運営委託会社)により行われ適切に整備されている。

ただし、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により全ての研修が中止となっている。

## 6-2 実習施設・インターシップ等について充分整備されているか

### (ア) 学校施設

新校舎の2号館(スタジオ棟)では、1階にFacility Studio(建築設備実習室)、2階にDesign Studio(体験型学習室)、4階にWork Studio(総合実習室)と各分野に特化した専用の設備を完備している。

- ① 建築設備実習室は、建築設備を「見て」「触れて」「感じて」「理解する」実習室として、建築系の学生が活用している。また、企業の研修・見学、高校生の校外学習の場として活用しているが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により企業等での使用は1件となっている。
- ② 体験型学習室は、「議論」「実習」「発表」など活発なコミュニケーションを生む学習空間として、主に建築系・デザイン系・土木測量系の学生が活用している。
- ③ 総合実習室は、「鉄筋・型枠の組立て」「左官工事」「基準点測量」「水準測量」など実践的な実習を室内でも実施できる場として、主に建築系・土木測量系の学生が活用している。
- ④ 5号館1階に造園実習場が整備され、これにより造園実習は天候に左右されることなく実施が可能となっている。

### (イ) インターンシップ

インターンシップ(実務研修・企業研修)は、貴重な体験と就職意欲の向上につながることから積極的に実施している。受入れ先企業は原則として、学生本人の自己開拓(家業・縁故など)としているが、教員・講師などが紹介する場合もある。

実施方法は必修または選択科目、期間は短期または通年などがある。学生は「研修計画書」及び「報告書」を提出するとともに、「研修成果報告会」を行っている。

なお、研修中における怪我や事故についての補償は、入学時に加入する保険(学生総合保障制度)で対応している。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により一部を除き中止している。

## 6-3 防災に対する体制は整備されているか

### (ア) 防災体制

学校法人中央工学校は自衛消防隊を組織し、災害時に迅速な対応が行えるよう備えている。また、消防計画を作成して各部署に配付し周知を図っている。

[2019年度 中央工学校 消防計画]

### (イ) 台風など自然災害への対応

台風や積雪等により通学が困難になった場合の授業実施については、本校ホームページで連絡している。休校となる場合には、代替授業を別途定めて実施している。

[令和2年度 中央工学校 運営計画、学生手帳]

### (ウ) 避難訓練

新入生を対象に、6・7月に避難場所(第一次避難場所：王子第二小学校、第二次避難場所：北区中央公園)の周知と避難経路の確認を行っている。

令和2年度は、14号館(前期)、1・6号館(後期)の校舎別避難訓練を計画したが、新型コロナウイルスの影響により中止している。

[令和2年度 中央工学校 運営計画、学生手帳]

(エ) 防災備蓄品

学生と教職員及び講師全員に対し 3 日分の防災備蓄品(消費期限：令和 10 年)が 17 号館に 1,688 個、14 号館に 300 個保管されている。また、令和 2 年度は簡易トイレ 26,000 回分が整備されている。

[令和 2 年度 中央工学校 運営計画]

(オ) AED 装置の設置

AED(自動体外式除細動器)装置を 1・2・14・17・20・21 号館に各 1 台常備している。

[令和 2 年度 中央工学校 運営計画]

6-4 防犯に対する体制は整備されているか

防犯カメラを 1・2・3・21・23 号館に合計 8 台設置している。その映像は録画され設備管理室・教務課でリアルタイムに確認できるようになっている。

また、警備員による巡回を 1 日 2 回実施している。その報告書は管財課を通じて教務課へ回付され、必要な部署に伝達することになっている。

評価と今後の改善方策 「教育環境」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
6-2	実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
6-4	防犯に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

- ・校外実習地などで災害が発生した場合の対応が不明確である。
- ・防災備蓄品が備えられているが、学生に周知されていない。
- ・消防計画の内容が現状と合っていない。
- ・不審者に対する対応方法が不明確である。

② 今後の改善方策

- ・校外学習地における防災マニュアルの作成をする。
- ・学生手帳等への記載をする。
- ・消防計画の見直しを行う。
- ・職員に対し不審者対応のための講習会を実施する。

③特記事項

- ・特になし

## (7) 学生の受入れ募集

### 7-1 学生募集活動は適正に行われているか

(ア) 学生募集活動は、広報課が中心に企画・運営し、教職員による高等学校の進路相談会や会場説明会への参加と高等学校訪問も実施している。また、留学生の募集活動は、国際情報系と教務課で会場説明会や日本語学校訪問を実施している。

募集イベントは体験入学(年18回)、オンラインを含めた学校説明会(年10回)を実施している。また、入学希望者が適切な進路選択ができるように個別の学校見学や入学相談などによる丁寧な対応を心がけている。

(イ) 情報の発信は、デジタル情報としてホームページにより随時更新を行っている。また、各種進学情報誌や情報サイトにも掲載している。紙媒体は学校案内書、募集要項の他、資格取得チャート、軽井沢研修所案内、学生寮案内、資格取得状況、就職決定状況などを提供している。

(ウ) 学校法人で設置した広報センターにおいて、グループ校で連携強化した募集活動を効率的に行っている。本校では、広報連絡会議により各部署間の連携を図っており、体験入学や学校案内書などについて協議している。

(エ) 本校は、高校教員、保護者との信頼を得るため、AO入学試験、特待生制度は導入していない。一般入学試験については、実施日程や試験内容など運営上の課題の検証を行い改善を図っている。

(オ) 入学者の受入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、ホームページなどで公表しており、令和3年度学校案内書、募集要項などにも記載され、入学生への告知が図られている。

[学校案内書、募集要項]

(カ) デザイン系学科において入学前指導を予定していたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止している。参加者の就学へ向けた成果が表れており、他の学科においても入学の促進・退学者の削減に向けて実施の可否についての検討を図っている。

### 7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

(ア) ホームページにより、学生作品、就職実績、資格取得実績、実習内容、各種大会の入賞実績などの教育成果は、各教員室より最新情報に更新して細部まで正確に伝えている。また、高等学校には就学状況について学生の写真を添えて報告している。

[中央工学校ホームページ]

(イ) 学内の展示スペースに学生作品を常設展示し、入学希望者だけでなく保護者も閲覧できるようにしている。

### 7-3 学納金は妥当なものになっているか

(ア) 学納金は、授業形態、実習内容を基に、授業料・施設維持費及び教材・教具費の見直しを定期的に行い適切に設定している。学科・修業年限により多少の差はあるが、東京都内の同分野校と同水準となっている。

(イ) 選択コースなどによる教材、合宿実習、資格取得に関わる費用、課外活動費は別納とし、それぞれ会計報告している。

[募集要項]

## 評価と今後の改善方策 「学生の受入れ募集」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	4	3	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
7-3	学納金は妥当なものになっているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・少人数学科の安定した学生数の確保に苦労している。
- ・入学の促進・退学者の削減に向けた入学前指導の必要性を精査する。

### ②今後の改善方策

- ・少人数学科への入学促進のため、特色を生かした広報強化を進め改善を図る。
- ・入学の促進・退学者の削減のための入学前指導の検討・実施を進める。

### ③特記事項

- ・令和3年度入学から推薦入学における高等学校長推薦の平均評定値を2.7以上から3.0以上に変更している。

## (8) 財務

### 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

私立学校は、建学の精神にもとづく教育活動を将来にわたり継続的に実施していくことが求められている。本法人は、この目的を達成するため、私立専修学校の特性を踏まえ、財務基盤の充実と強化・安定に重点を置いている。

現状における財務基盤について、施設(校地・校舎)に不足はなく、教育設備は定期的に入換えを行っている。しかし、老朽化による修繕費支出が毎年増加傾向にあることから、一部の校舎の建替えを実施し、その費用については中長期的な財務基盤の安定化のため、引当預金の取り崩しに加え、低金利等の社会情勢を勘案し、銀行からの借入れを実施している。

経費支出については、施設整備や人件費など増加する要因はあるが、中長期計画の下、合理的支出を心がけている。また、平成30年度に策定した「中央工学校における中期計画(令和元年度見直し)」により所有する資産や事業の見直しを行っている。

私立専修学校を取り巻く経営環境は、少子化などのため大きく変化しており、急速に悪化している。これらの状況を勘案し、さらに財務基盤を安定させるためには、一定数以上の入学者を確保し続けることが必要である。このため、絶えず教育内容の見直しと向上を図り、広報体制の整備を進めるとともに、退学・除籍などのドロップアウト対策を強化して改善を図り、学生納付金収入を確保していく必要がある。

[令和元年度 計算書類・監査報告書・中央工学校における中期計画(令和元年度見直し)]

## 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、が主要な計算書類であり、これらについては、予算対比・年度対比・構成比・伸び率などの財務分析を行い主要指標を比較している。また、これらの数値を検証し、次年度以降の事業計画立案及び予算作成に活かしている。

予算及び収支計画については、学生納付金収入などの収入予定金額や人件費をはじめ、教育研究経費・管理経費・設備費を試算したものを法人本部でとりまとめ、法人全体の予算原案を作成している。その後、事業計画との整合性を検証し、予算単位責任者(校長)による全体調整の後、評議員会・理事会での承認を得て示達され、計画に則った予算執行及び運用が実施されている。

なお、令和2年度より新設された高等教育の修学支援新制度の申請を行い、授業料減免額を受領している。また、東京都予算に計上された「私立専修学校職業実践専門課程推進補助金」の申請を行っている。

## 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか

本法人では、私立学校法及び寄附行為に基づき、選任された2名の外部監事が会計監査を実施している。また、独立監査人(監査法人)による会計監査を受けている。監査法人は、年間5・6回の期中監査をはじめ、財務担当理事・法人本部経理課・総務部等の担当者から適宜状況の説明を求め、会計監査を実施している。

監事は、事業報告書や計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び収益事業の貸借対照表・損益計算書)により財務の概要を把握し、法人の業務及び財産の状況を監査し、監査報告書を作成している。監事による会計監査は、毎年決算処理が完了する5月上旬に実施されており、寄附行為に基づき当該会計年度終了後2ヶ月以内に、監事が作成した監査報告書及び監査法人が作成した監査報告書が、理事会に提出され最終的な承認を得ている。

また、学内においても、令和元年度のクラブ・同好会の会計監査を実施している。

[令和元年度 計算書類・監査報告書]

## 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

本法人では、私立学校法47条に則り法人本部で作成した、事業報告書内に財務の概要として

- ① 監査法人及び監事による監査報告書
- ② 計算書類
- ③ 財産目録

の3点を、各学校のホームページで公開している。

また、例年は、教職員全体会議において、学校法人全教職員に対し法人本部長から説明を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中央工学校単独で校長から説明している。

## 評価と今後の改善方策 「財務」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4	3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・財務基盤の維持・向上を図る必要がある。

### ②今後の改善方策

- ・策定した「中央工学校における中期計画」の実行と見直し。

### ③特記事項

- ・将来構想に適した王子キャンパス整備計画の継続。

## (9) 法令等の遵守

### 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

本校は、法令や専修学校設置基準などを遵守し適正な運営に努めている。主な取り組みとしては教職員・学生などに対する啓発活動と、教職員には各種会議・書面等を通じて、学生には入学時のガイダンス、ホームルーム、掲示板、を通じて周知徹底を図っている。

令和4年度の定員数増による学則変更は、令和2年11月30日付で受理されている。

令和元年度の自己評価結果を踏まえ、令和2年度は学校行事や休暇期間の見直しを行い、曜日毎の授業時間数の均等化を図り改善を行っている。しかし、コロナ禍により授業時間数の確保に苦慮している。

前期は6月より授業を開始し、祝日を振替授業に、学校行事(軽井沢合宿研修・体育祭・合同企業説明会・夏季休暇)を中止し授業時間数を確保している。

後期は学校行事(軽井沢合宿研修・飛鳥祭)を中止し授業時間数を確保している。

### 9-2 個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか

個人情報の取り扱いに関しては、学校法人中央工学校による「個人情報保護規定」にて対応している。学内サーバに保管してある個人情報は、専用ソフトによりアクセス管理され情報漏洩防止に努めている。また、個人情報の学外への持ち出し、FAX・メールによる取り扱いの禁止を定め管理を行っている。

[個人情報保護規定]

### 9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

自己点検評価の項目は、以下のとおりとなっている。

- (ア) 教育理念・目標・人材育成像
- (イ) 学校運営
- (ウ) 教育活動
- (エ) 学修成果
- (オ) 学生支援
- (カ) 教育環境
- (キ) 学生の受入れ募集
- (ク) 財務
- (ケ) 法令等の遵守
- (コ) 社会貢献・地域貢献
- (サ) 留学生（国際交流）
- (シ) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ① 令和元年度の自己評価結果により、令和2年度は次の改善を行っている。
  - ・新規公開講座・講習を設け積極的に実施している。（10-3参照）
- ② 令和元年度の自己評価結果により、令和2年度は次の問題点が指摘されている。
  - ・学校敷地内全域の全面禁煙に伴う、路上喫煙の問題。（2-4参照）
  - ・防災用品の備蓄状況を学生に周知させるとともに、消防計画の現状に即した見直しが必要。（6-3参照）

### 9-4 自己評価結果を公開しているか

令和元年度学校評価（自己評価・学校関係者評価）結果を本校のホームページで公表している。

#### 評価と今後の改善方策 「法令等の遵守」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1



### ①課題

- ・引き続き授業時間数の曜日毎の均等化や安定的な確保を図る。

### ②今後の改善方策

- ・学校行事の見直しや、祝日の振替えによる曜日毎の均等化、休暇期間の見直しによる安定的な授業時間数の確保をする。

### ③特記事項

- ・引き続き、遠隔授業に伴う関連法令等の調査・研究を行う。

## (10) 社会貢献・地域貢献

### 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

#### (ア) 教育施設の活用

- ① 校舎施設を試験会場に提供。
- ② 国登録有形文化財の三五荘と南ヶ丘美術館の一般公開。
- ③ 新校舎の有効活用の推進

#### (イ) 社会貢献・地域貢献

- ①教職員が通学マナーを指導し、近隣町内の美化活動を実施。

#### (ウ) 高校生を対象とした教育の連携

- ① 建築系コンペティションを主催し建築教育振興に寄与。(説明会等は中止)
- ②インターンシップの実施。(職業体験として2校受け入れ)

#### (エ) 地域貢献を目的とした教育活動

- ①「住宅の建替え計画」  
瀧野川信用金庫と連携。施主へ作品を提示し提案の趣旨を説明。
- ②「商店街リニューアル計画」  
赤羽一番街商店街と連携。施主へ作品を提示し提案の趣旨を説明。
- ③「近隣小学校の特別教室(音楽室・図画工作室・家庭科室・図書室)の扉塗装」  
王子第二小学校から依頼を受け、デザイン系学生有志で塗装。
- ④「区立王子駅前公園作品展示」  
北区役所と連携。造園デザイン科2年生が製作。

### 10-2 学生のボランティア活動を奨励しているか

各団体よりボランティアの依頼があった際には、ホームルームや学内掲示などで学生に周知・参加を呼び掛け奨励に努めている。

- ① 献血活動を年2回実施し、日本赤十字社へ協力。

### 10-3 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

現在実施されている講座・講習会は、以下のとおりとなっている。

- (ア) 法務局・地方法務局 中央測量技術講習（後期のみ実施）
- (イ) 受託講習（企業、団体対象講習・研修会）
- (ウ) 各種受験対策講座（第二種電気工事士 1 Day 基礎講習）
- (エ) 在校生対象講習（福祉住環境コーディネーター検定試験対策講座）
- (オ) 各種講演会（STEP UP セミナー（実施検討中））

#### 評価と今後の改善方策 「社会貢献・地域貢献」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生のボランティア活動を奨励しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

#### ①課題

- ・学生のボランティア活動において、ホームルームでの呼びかけやポスター掲示は行っているが、実施したという報告はない。

#### ②今後の改善方策

- ・ボランティア活動の奨励においては、授業数の確保が最優先のため実施が難しいが、依頼や募集があった場合には奨励していく。

#### ③特記事項

- ・新校舎の有効活用においては、新規の講習・研修会が増えた。今後もさらに有効活用出来るようアピールしていく。

### (11) 留学生（国際交流）

#### 11-1 留学生の受入れについて明確な方針を持って行っているか

留学生の受入れについては、学習意欲、日本語力、経費支弁能力、卒業後の進路目標などを書類・筆記試験・面接で厳しく選考した上で入学を許可している。また、教育の質の維持・向上のため、留学生の在籍数を全体の2割以内に留めている。

入学後のミスマッチが起きないように、体験入学や学校説明会などに参加してから出願することを推奨している。また、日本語学校を訪問し、教育方針や教育内容、受入れ方針や選考基準の周知を図っている。

## 1 1 - 2 留学生の受入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか

### (ア) 受入れ

母国における卒業、成績証明書及び日本語学校での成績、出席の証明書、経費支弁能力、日本語力及び学習意欲を厳正に審査した上で受入れている。

### (イ) 手続き

取次申請の資格を持った入学担当職員により、在留資格「留学」の在留期間更新の申請等に関する指導を行っている。

### (ウ) 資格外活動

入学前及び進級時のオリエンテーションでその詳細を説明し、活動内容、労働時間、アルバイト先を学校に報告するよう指導している。

### (エ) 在籍管理

在籍管理に関しては、各クラスの担任が現住所、連絡先、アルバイト先、緊急連絡者、保証人などの情報を把握した上で、出席状況を毎日確認し、無断欠席があった場合には電話で状況の確認を行っている。3 日以上無断欠席が続いた学生に対しては、自宅訪問や保証人との連携により出席状況の改善を指導している。また、在留資格や現住所などに変更があった場合に直ちに報告させているほか、毎月、在留カードを確認することで、学生の状況把握に漏れが生じるのを防いでいる。

在籍管理については滞りなく行われており、令和2年度も「適正校」の認定を出入国在留管理庁より受けている。

## 1 1 - 3 留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

### (ア) 学習支援

授業料の減免や留学生特別奨学金等の制度を設け、経済的に困窮している学生や成績優秀な学生を支援している。

日本学生支援機構から、留学生受入れ促進プログラム文部科学省外国人留学生学習奨励費(職業実践専門課程特別枠)として、8名(工業系1名、国際情報系7名)が学習奨励費を受給している。また、令和2年度は、コロナ禍で特例的に同奨励費の1か月分が経済的に困窮している留学生(上記の枠で受給している学生とは別の者)に支給されることになり、10月に14名(工業系1名、国際情報系13名)が申請して全員に給付されている。

さらに、文部科学省から「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』として、62名(工業系8名、国際情報系54名)が、それぞれ10万円を受給している。

中国語や韓国語が話せる専任職員2名により、学習相談や生活相談、在留期間更新申請の指導などに随時対応し、留学生が安心して学習できる体制を整えている。

### (イ) 就職支援

就職指導課とクラス担任が連携し、学生の希望進路に合わせた就職指導・就職ガイダンス・合同企業説明会などを行い、就職率向上に向けた体制を整えている。

商業実務専門課程では、東京商工会議所北支部との連携などによりインターンシップの受入れ先企業が安定し、同課程の就職率は年々改善され令和元年度卒業生の就職率は90%を超え、ここ数年、安定的に高い就職率を維持している。

## 評価と今後の改善方策 「留学生（国際交流）」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
11-1	留学生の受入れについて明確な方針を持って行っているか	4	3	2	1
11-2	留学生の受入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか	4	3	2	1
11-3	留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・特になし。

### ②今後の改善方策

- ・特になし。

### ③特記事項

- ・特になし。

## (12) 新型コロナウイルス感染症への対応

### 12-1 手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策が整備されているか

授業開始にあたり、教室や教員室など学生をはじめ不特定多数が使用する場所には、消毒液を設置するとともに、手指消毒を促すプレートを設置している。

授業開始からは、手洗いや咳エチケットなどを促すポスターをエレベータ前に設置するとともに、毎朝、校内放送にて注意喚起を行っている。また、学内及び通学時のマスク着用を徹底するとともに、マスクを所有していない学生のために購買で販売している。

授業では、教員・講師のマスク着用とともに、近距離での指導ではフェイスシールドの使用を推奨している。夏季における屋外実習は、熱中症の危険性が高まることから、作業内容や体調を踏まえ、マスク未着用を認めている。その際は、職員のフェイスシールドの着用や学生同士が密接とならないよう努めている。

[中央工学校における感染防止ガイドライン]

### 12-2 3つの密（密閉・密集・密接）を回避する対策が整備されているか

手洗いや咳エチケットと同様に、ポスターや校内放送にて注意喚起を行っている。

教室での授業は3密となりやすくなるため、教室定員の50%以下で授業を実施するとともに、換気扇による換気と窓を開けた自然通風を併用し適切に空気の入替えを行っている。

学生レストラン「SORA」は、食事の際にマスクの着用ができないため、座席間隔を広げ対応するとともに、昼休みを11時・12時・13時と分散させ混雑の緩和に努めている。また、23号館RISEの図書館・学生ラウンジでは、座席を間引きするとともに、滞在時間が長くないよう指導している。そのほか、学生などが集まりやすい場所には、整列間隔が保てるよう、足元表示を行っている。

[中央工学校における感染防止ガイドライン]

### 12-3 学生や教職員の感染が判明した場合の対策が整備されているか

学校法人として定めた「新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について」を基に、中央工学校における「新型コロナウイルス感染症に対する対応について」を定め、学校関係者が感染や濃厚接触者となった場合の対応とともに、北区保健所や北区総務部総務課と連携をとる体制を整えている。また、ホームページにて「学生やその関係者に感染が確認された場合の対応」を公開している。

学生に発熱など体調の異変がある場合は、担任が「新型コロナウイルス感染症関連相談等に関して（学生用）」に入力して情報の共有を図っている。また、PCR検査を受診する場合は、学生の行動記録（登校状況・学内での行動歴）を「行動記録確認入力シート」に入力し、陽性反応となった場合でも速やかに対応できるよう努めている。さらに、学生レストランや購買・学生寮とも情報共有する体制を整えている。

教職員・講師においても体調に異変を感じた際は、所属上長に報告し自宅待機としている。報告を受けた所属上長は教務課と連携し、「新型コロナウイルス感染症関連 相談等に関して（職員用）」・「新型コロナウイルス感染症関連 相談等に関して（講師用）」に入力して連携を図っている。

[新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について、新型コロナウイルス感染症に対する対応について、新型コロナウイルス感染症関連 相談等に関して（学生用）・（職員用）・（講師用）、行動記録確認入力シート]

### 12-4 学生や保護者に対し、学事日程や授業計画等の変更が周知されているか

政府による新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、入学式の中止、授業開始の延期、また、感染拡大の防止から各種学校行事が中止となっている。学生や保護者には、以下を郵送し周知を図るとともにホームページで公開している。

- ・ 緊急事態宣言発令に対する本校の対応について（お知らせ）（4月8日付）
- ・ 学校行事等についてのお知らせ（4月20日付）
- ・ 学校行事・授業期間変更に関するお知らせ（5月7日付）
- ・ 授業開始にあたり（5月20日付）
- ・ 学校行事等の変更について（7月付）

授業開始後、「新型コロナウイルス感染症に関する学生アンケート」を実施し、学事日程や授業計画等の変更の周知が適切に行われていたか調査を行い、一定の評価を得ている。

[緊急事態宣言発令に対する本校の対応について（お知らせ）（4月8日付）、学校行事等についてのお知らせ（4月20日付）、学校行事・授業期間変更に関するお知らせ（5月7日付）、授業開始にあたり（5月20日付）、学校行事等の変更について（7月付）、新型コロナウイルス感染症に関する学生アンケート結果報告]

## 12-5 学修機会の確保や感染リスクの低減を考慮した授業が適切に実施されているか

国内・東京都内の感染状況を踏まえ、学内で「新型コロナウイルス感染症対策による授業実施の状況」をSTEP 0（全員登校・通常授業）～STEP 5（登校禁止・全員遠隔授業）を定めている。STEP 1 からは、「遠隔授業」「分散登校による通学授業」「通常授業」を併用して行っている。これらは、教室の密集率や授業内容（講義科目・実習科目）によって判断している。

6月8日の授業開始時より遠隔授業をスタートしている。遠隔授業導入に際しては検討委員会を立ち上げ、準備から実施・運営にあたっている。遠隔授業では、一方向的になりやすく、学生の理解度の低下が懸念されるためWEBカメラを1,000台購入し、学生に貸与することで授業の理解度とともに満足度が高まるよう努めている。

前期授業終了後に「遠隔授業に関する学生アンケート」を実施し、遠隔授業の満足度は5点満点中、3.4となっている。学生意見から改善と今後の在り方についての検討も進めている。

合宿を伴う実習授業は全て中止し、学内や近隣施設を活用した代替授業を実施している。（「1-2 学校における職業教育の特徴はあるか」参照）

[新型コロナウイルス感染症対策による授業実施の状況（前期）STEP 0～5、遠隔授業に関する学生アンケート結果報告]

## 12-6 学生や保護者に対し、修学支援などの情報が周知されているか

「高等教育の修学支援新制度」など奨学金に関する情報は、教室掲示とともにホームページにて周知している。

奨学金に関する説明会は、新型コロナウイルスの影響で従来の教室やSTEPホールでの集中開催ができず、複数回での実施やGoogle ClassroomやYouTube（中央工学校専用チャンネル）を活用したオンライン説明会で実施し、諸手続きは遺漏なく終えている。

新型コロナウイルスに関する修学支援として実施された「「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』～学びの継続給付金～」では、留学生を含む143名（在籍数の9.0%）の学生が支援を受けている。

## 12-7 学生が安心して就職活動ができる体制が整備されているか

工業専門課程では、新型コロナウイルスの影響を大きく受けることなく、求人数・求人社数を確保している。しかし、授業開始が遅れたことにより就職活動開始も遅れた結果、例年に比べ進路決定が遅れている。

就職支援では、従前とおりに就職指導課担当者との対面指導が中心となっているため、アクリルパネルを設置して飛沫感染防止に努めている。

なお、対面による就職指導だけでなく学生や保護者からの質問等に対しては、メールや電話でも対応している。

評価と今後の改善方策 「新型コロナウイルス感染症への対応」

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
12-1	手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策が整備されているか	4	3	2	1
12-2	3つの密（密閉・密集・密接）を回避する対策が整備されているか	4	3	2	1
12-3	学生や教職員の感染が判明した場合の対策が整備されているか	4	3	2	1
12-4	学生や保護者に対し、学事日程や授業計画等の変更が周知されているか	4	3	2	1
12-5	学修機会の確保や感染リスクの低減を考慮した授業が適切に実施されているか	4	3	2	1
12-6	学生や保護者に対し、修学支援などの情報が周知されているか	4	3	2	1
12-7	学生が安心して就職活動ができる体制が整備されているか	4	3	2	1

①課題

- ・特になし

②今後の改善方策

- ・特になし

③特記事項

- ・with コロナを含めた今後の様々な学修システム・支援を継続的に検討する。

## 5. 自己評価総括

### (1) 総括

令和2年度の自己評価を終え、全体的に安定した運営が行われていることが確認できた。特に、新型コロナウイルスの影響による学校運営においては、学校行事や授業カレンダーの変更、それに伴う授業時間数の確保や感染拡大防止を鑑みた授業実施方法の確立などに教職員一丸となって取り組んだ結果、大きな問題なく運営することができている。

### (2) 今後の課題

#### ア. コロナ禍における適切な学校運営

令和2年度実施した遠隔授業や各種学校行事のオンライン開催などについては、今後のコロナ禍への対応や新しい教育手法として引き続き実施する。

#### イ. 教育の質保証への取り組み

コンプライアンス(法令遵守)の体制を再確認して教育の質保証に努めるとともに、その結果を公表する手段である「第三者評価」受審を目標に整備を推進する。

#### ウ. 学校財務の健全化

教育活動収支の均衡を目標に、安定的な学生数の確保と適正な予算編成・執行に努めて学校財務の改善を図る。

### (3) 令和3年度の重点管理指針

自己評価の結果を踏まえて、令和3年度の重点管理指針を次のように定め、全学的に推進する。

- (1) コロナ禍における適切な学校運営
- (2) 教育の質保証への取り組み
- (3) 学校財務の健全化
- (4) 王子キャンパス整備計画の完結
- (5) 職業実践専門課程の実質的運営
- (6) 留学生指導と在籍管理の徹底
- (7) 進学を含んだ適正な進路指導
- (8) 教員資質向上のための教員研修の実施
- (9) 幅広い世代に向けた生涯学習の開発と実践
- (10) 積極的広報による入学促進

以 上



「参考」 令和2年度重点管理指針

- (1) 新校舎を活用した積極的広報
- (2) コンプライアンス（法令遵守）体制の整備
- (3) 「中央工学校における中期計画」の検証と見直し
- (4) 職業実践専門課程の実践的運営
- (5) 留学生指導と在籍管理の徹底
- (6) 進学を含んだ適正な進路指導
- (7) 教員資質向上のための教員研修の実施
- (8) 幅広い世代に向けた生涯学習の開発と実践
- (9) 積極的広報による入学促進